

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会

令和元年度 第5回理事会 議事録

- [1] 日 時： 令和2年3月19日(木) 午後6時00分～午後6時45分
- [2] 場 所： 東京都新宿区内藤町11番4 東京都立新宿高等学校 小会議室
- [3] 出席者： 理事総数 9名(定足数5名)
- (1) 出席者 理事 6名 田中俊郎、加藤 隆、寺澤忠興、奥村直生、
岡野美幸、安藤直樹
- 監事 1名 宮山尚之
- (2) 同席者 事務局 1名 西出紀久
- [4] 議 案
- 第1号議案 令和2年度事業計画
- 第2号議案 令和2年度予算(案)
- [5] 審議経過及び審議結果
- (1) 代表理事田中俊郎が議長となり、理事会の開会を宣言する。
- (2) 第1号議案及び第2号議案を別紙により寺澤業務執行理事が説明した。

主な発言内容

- ・加藤業務執行理事から令和2年度の臨海教室の実施を見合わせた経緯と結論の説明があった。それよると、男子寮の代替宿泊の案では生徒、教師の安全を確保できないと判断し、伝統ある行事をこれからも継続させるには安全を第一に考えなくてはならない。
- ・再建できない、間に合わない時の他のプランを考えておかなくてよいのか。

詳細の検討については事務局に一任することで、議長が裁決を取った結果、満場一致で可決承認した。

午後6時45分、議長が閉会を宣言。

上記決議を明確にするため、本議事録を作成し、議長及び出席理事が次に記名押印する。

以上

令和2年3月19日

一般財団法人東京都立新宿高等学校朝陽会 理事会

議長	代表理事	田 中 俊 郎	印
	理事	加 藤 隆	印
	理事	寺 澤 忠 興	印
	理事	奥 村 直 生	印
	理事	岡 野 美 幸	印
	理事	安 藤 直 樹	印
	監事	宮 山 尚 之	印

令和元年度 第5回理事会

令和元年度 第4回評議員会

令和2年3月19日

一般財団法人 東京都立新宿高等学校 朝陽会

第1号議案 令和2年度事業計画

1. 館山寮の再建計画

- ・第一期工事として、男子用風呂とトイレの改修工事及び男子宿泊棟の解体撤去の設計、監理を再建委員会のメンバーでもある原田一級建築士に委託しました。設計が終了し、館山地区の二つの工務店に見積もりを依頼し、3月13日に見積書を受領して仕様、価格の検討を始めました。(解体、改修費用総額1500万円を予定)
4月には着工したいと考えています。
- ・第二期工事の男子宿泊棟の再建については、令和3年度の臨海教室に間に合わせるように計画を進めます。第一期工事設計を担当した原田設計士の素案を基に、工務店案、注文住宅会社の建築案などとの優劣を見極めて、早い時期に設計者及び建築業者を選定したいと考えています。

2. 再建募金の状況

- ・昨年末より全同窓生、旧職員、及びPTAに対して募金を呼び掛けたところ、先週末時点で22百万円となりました、多くの方々にご寄付頂き、同窓生の館山寮に対する熱い気持ちを感じることが出来ました、皆様のご協力に御礼を申し上げます。
また、火災保険は1月31日に86百万円支払われました。

3. 臨海教室実施見合せ

- ・昨年度は2泊3日の日程で4期12日間に渡り行ってきましたが、本年度は実施を見合わせることにしました。
男子宿泊棟の再建が臨海教室開催までに間に合わないということになり、地域の他の宿泊施設を利用する案、簡易宿舎を使用する案などの代替案を検討しましたが、何れも今まで通り安全に臨海教室を行うことが出来ないと判断するに至りました。
- ・臨海教室に代わる案を臨海プロジェクトと朝陽水泳会が中心となって検討していて、いくつか具体的な案が出てきていますが、まだ決定はされていません。

4. 同窓生に対する館山寮の開放

- ・女子棟と新棟を使用して、従来通り夏季一か月程度同窓生に開放したいと考えています。
開寮期間中の管理を依頼している朝陽水泳会と細部の打ち合わせを行いますが、その場合でも食事の提供はしない予定です。

5. 従来からの継続案件は引き続き支援または検討します

- ・朝陽バラ会への支援
- ・旧水上寮の跡地の活用問題

第 2 号議案 令和 2 年度予算(案)

1. 再建募金・保険金収入及び再建工事関係支出

単位：万円

資金収支	2 年度予算	元年実績見込
再建募金	1,500	2,261
保険金	—	8,659
第一期工事関係	－1,350(*2)	－158(*1)
第二期工事関係	－4,200(*3)	—
収支	－4,050	10,762
繰越金	6,712	10,762

* 1 設計委託費及び台風被害片付け費用

* 2 男子宿泊棟解体撤去費及び男子風呂・トイレ修繕改修費用

* 3 設計委託費、建築確認申請費用、男子宿泊棟建替費用の半額

2. 経常収益

・賛助会員受取会費は納付率を昨年度と同じ 83%とした。

(納付率推移 元年度 83%、30 年度 83%、29 年度 85%、28 年度 82%、27 年度 68%)

・寮使用料収入は、同窓生のための利用となるため大幅な減少となる。

・元年度火災保険金支払いが 8,659 万円、PTA から館山寮再建募金が 180 万円あった。

単位：万円

主な項目	2 年度予算	元年度実績見込	元年度予算
賛助会員受取会費	398	398	399
寮使用料収入等	30	740	669
PTA 寄付金、募金	20	200*	20
火災保険金受取	—	8,659	—
計	448	9,997	1,088

*PTA からの募金以外は、朝陽同窓会の預り資産となっている。

3. 経常費用

・減価償却費は元年度男子宿泊棟滅失により減少するが、2 年度に男子用風呂、トイレが改修されるので増加する。

・朝陽同窓会に事務委託費、年間 36 万円を支払うこととする。(委託費の内数)

・臨海教室関連費用(委託費(食事)、光熱水・燃料費、消耗品費等)は大幅に減少する。

・通信運搬費の元年度は館山寮再建募金趣意書印刷発送費用。

単位：万円

主な項目	2年度予算	元年度実績見込	元年度予算
減価償却費	557	492	639
委託費等	226	753	792
光熱水・燃料費	16	79	98
消耗品費	13	59	60
保険・賃借料	54	81	84
通信運搬費等	2	167	7
助成金等	12	64	49
管理人費用	50	50	50
その他	105	46	125
計	1,035	1,791	1,904

4. 経常収支増減額

- ・令和2年度は－587万円、減価償却費を除いた現金収支はほぼトントンとなる。

単位：万円

経常収益	2年度予算	元年実績見込	元年度予算
当期経常増減額	－587	8,193	－816
(除く減価償却費)	－30	38*	－177

*火災保険金を除く

5. 特別損失

- ・元年度特別損失は、滅失した男子宿泊棟の帳簿価格相当と後片付け費用。
- ・2年度特別損失は、滅失した男子宿泊棟の解体撤去費用。

単位：万円

	2年度予算	元年度実績見込	元年度予算
特別損失	500	338	－

以上